

## 令和7年度「学校評価アンケート」結果と分析及び改善・充実案について

文京区立林町小学校

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

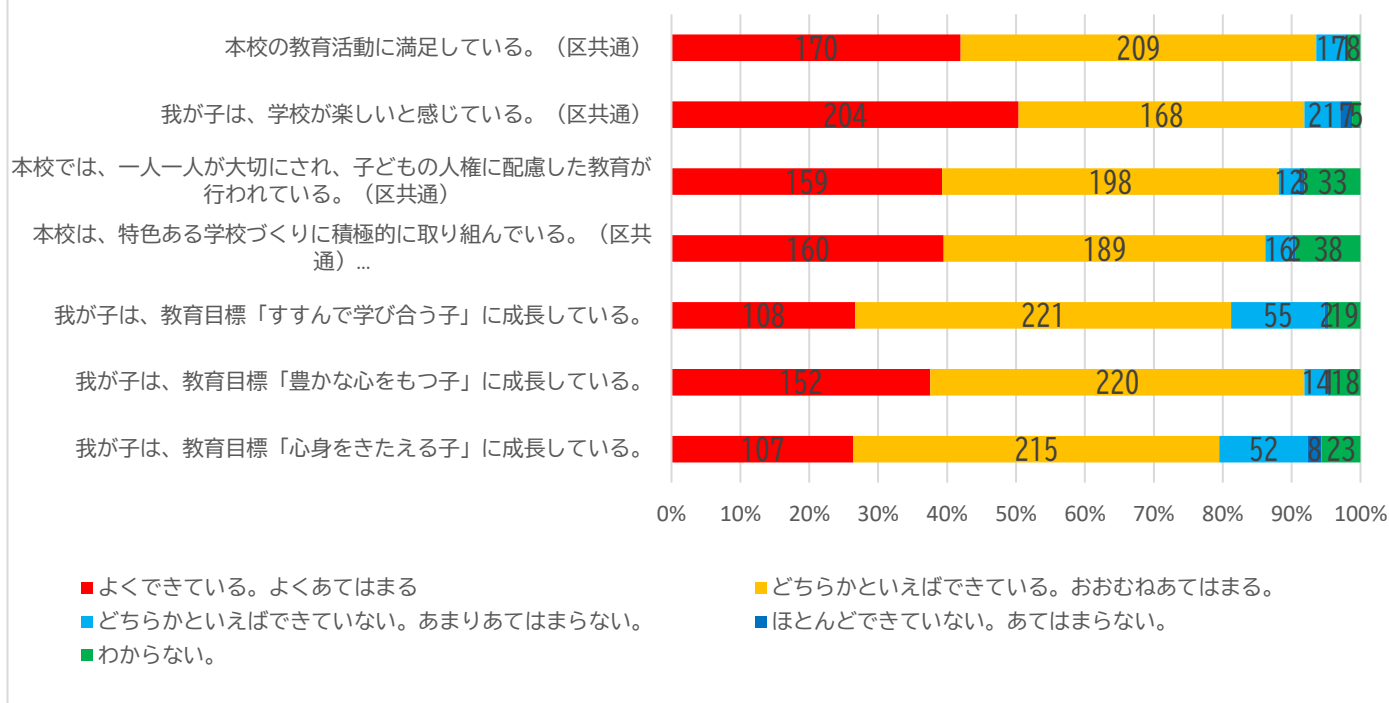
さて、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度の学校評価アンケートの結果と分析及び改善・充実案がまとまりましたので、お届けいたします。次年度の教育活動に生かして参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

実施期間

令和7年 11月18日～12月10日

回答 405(405/655)【回答率約62% (児童数で実施)】

## 1 学校運営・教育活動全般について



(※以下、説明においては、質問項目についてキーワードで示します。)

## 前年度との比較

今年度の「1 学校運営・教育活動全般について」の結果は、上のグラフの通りとなりました。

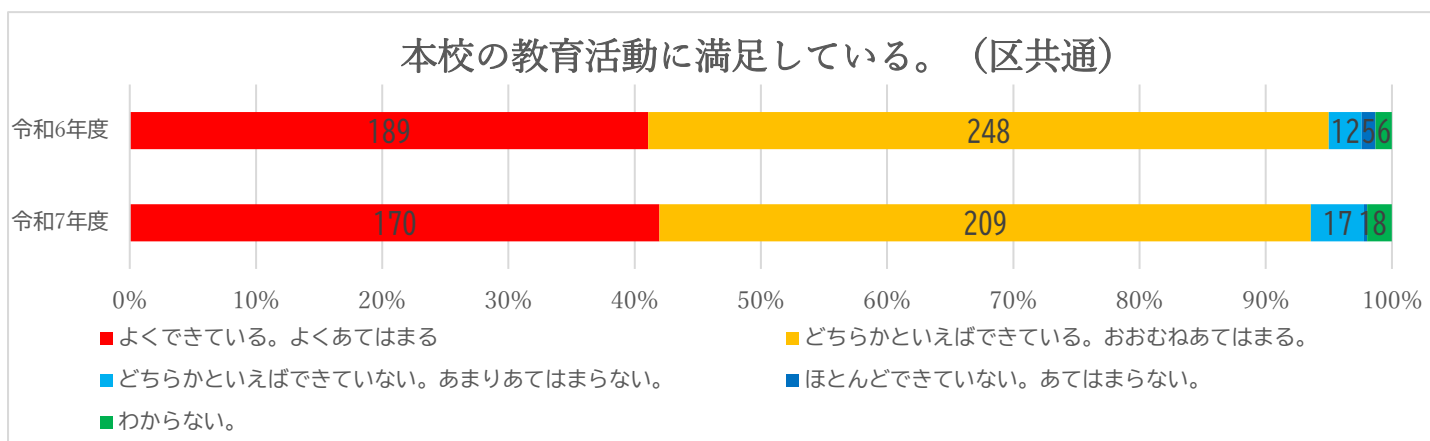
肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

(1)「教育活動への満足」	令和6年度 95%	→	令和7年度 93%	(2ポイントダウン)
(2)「楽しい学校」	91%	→	91%	(±0変化なし)
(3)「一人一人を大切にした教育」	89%	→	88%	(1ポイントダウン)
(4)「特色ある学校づくり」	86%	→	86%	(±0変化なし)
(5)「すすんで学び合う子」	81%	→	81%	(±0変化なし)
(6)「豊かな心をもつ子」	90%	→	91%	(1ポイントアップ)
(7)「心身をきたえる子」	76%	→	79%	(3ポイントアップ)

となっています。

学校運営・教育活動全般については、全ての項目で肯定的評価が概ね80%以上の値でした。(7)「心身をきたえる子」では、昨年度に比べて肯定的評価が3ポイントアップしました。今年度より、体育健康教育推進校として始動した新たな取組に対して、評価をいただいているのではないかと考えられます。体力テスト等の数値としては未だのびしろの大きい値のままです。始業前に楽しみながら体の動かし方を知る「朝活!」、実施回数が2回に増えた体力テスト、音楽に合わせて体をほぐす「林町体操」など、児童の体力向上のための新たな取組を続けていきます。そして「朝活!」により多くの児童が参加できるように、発信をしていきます。

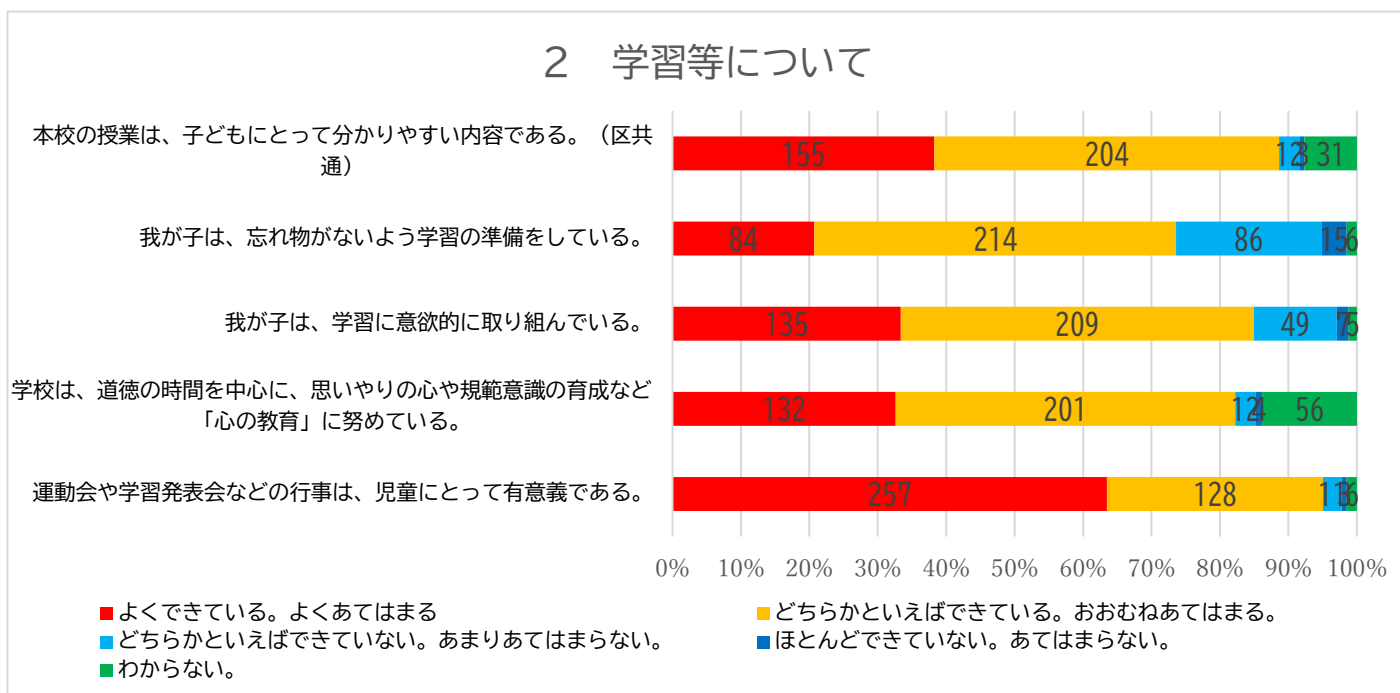
**ピックアップ** (1)「教育活動への満足」に関する項目について



**分析及び改善・充実案**

(1)「教育活動への満足」は、93%と高い値を示しました。工事により校庭や理科室・家庭科室の活動範囲が制限され、学びの場や遊びの場が減ってしまったこと、熱中症対策として外遊びや体育・プール活動の機会が減ったことなど、マイナス要因が多くある中でも、本校の取組を好意的に評価していただきました。来年度もまた、給食室の工事により、給食の代わりに仕出し弁当となったり、校庭や専科教室の活動範囲が制限されたりしてまいります。学習方法の工夫をしたり、プール活動時期を延ばしたり、屋上等他の施設を有効活用したりしながら教育活動を展開してまいります。

**2 学習等について**



## 前年度との比較

今年度の「2 学習等について」の結果は、上のグラフの通りとなりました。

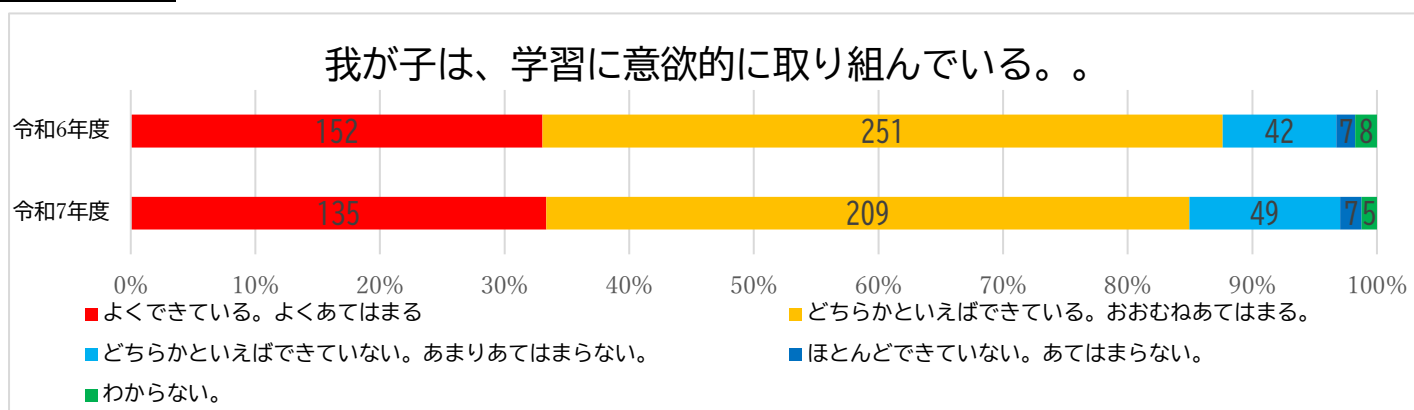
肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

(8)「分かりやすい授業」	令和6年度	87%	→	令和7年度	88%	(1ポイントアップ)
(9)「学習の準備」		71%	→		73%	(2ポイントアップ)
(10)「学習への意欲」		87%	→		84%	(3ポイントダウン)
(11)「心の教育」		82%	→		82%	(±0変化なし)
(12)「行事」		95%	→		95%	(±0変化なし)

となっています。

「2 学習等について」は、大概高評価をいただいています。今年度は昨年度と比して2項目でポイントアップし、1項目でポイントダウンでした。その中で、(8)「分かりやすい授業」は、88%から高評価をいただきました。教員が日ごろから授業改善に取り組んできた成果と捉え、今後もより分かりやすい授業を目指していきます。また、(9)「学習の準備」では、2ポイントアップでした。学校で連絡帳を丁寧に書くことを指導したり、ご家庭での協力が得られたりしたからだと考えられます。まだまだ、73ポイントと低い値ですので、一人一人の児童がすすんで準備し、自立した行動ができるようにご家庭と連携してまいります。

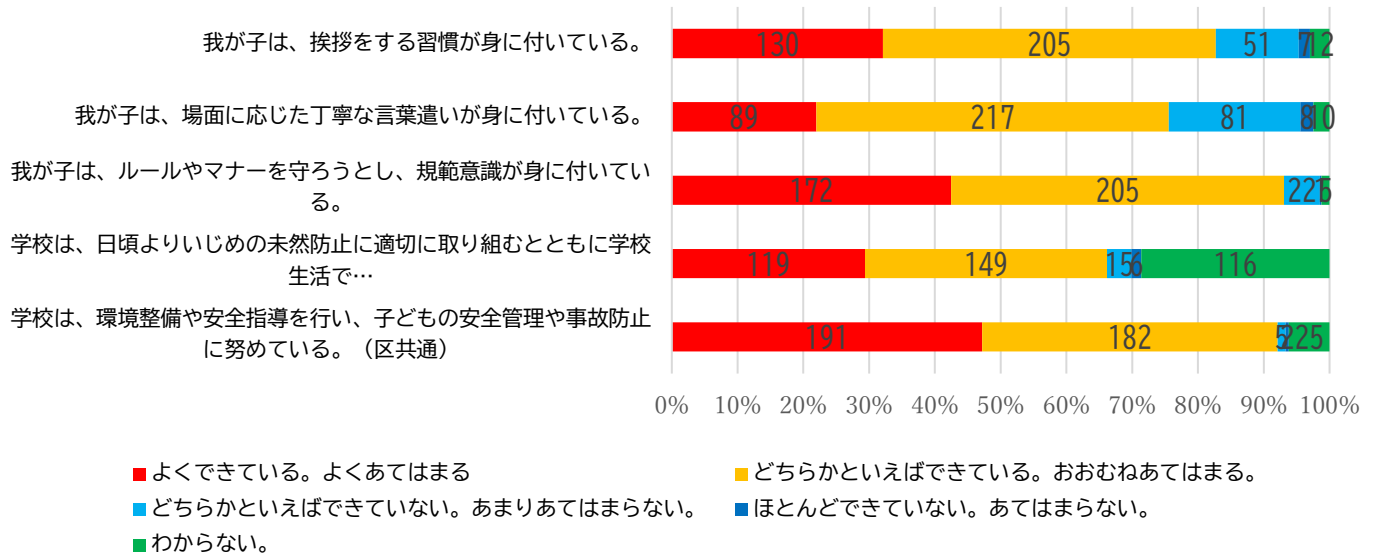
### ピックアップ (10)「学習への意欲」に関する項目について



### 分析及び改善・充実案

(10)「学習への意欲」に関しては、84%が肯定的な評価をしてくださっています。しかし、昨年度と比べて3ポイントの低下でした。児童一人一人の学習への主体性や意欲を高める取組については、今後の課題として捉える必要があります。楽しさや達成感を得られる授業を目指し、目的意識や見通しをもたせて主体的な学びを促し、互いに話し合い認め合う授業内容や学習方法の工夫をしていきます。

### 3 生活指導等について



#### 前年度との比較

今年度の「3 生活指導等について」の結果は上のグラフの通りとなりました。

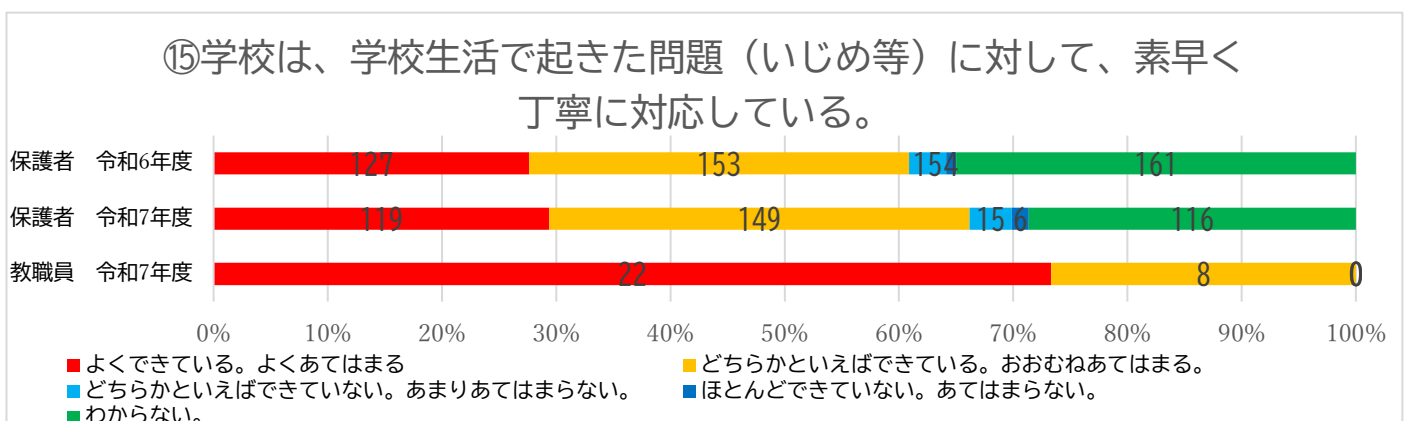
肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

(13)「挨拶」	令和6年度	82%	→	令和7年度	82% (±0 変化なし)
(14)「言葉遣い」		74%	→		75% (1 ポイントアップ)
(15)「規範意識」		91%	→		93% (2 ポイントアップ)
(16)「いじめ等の対応」		60%	→		66% (6 ポイントアップ)
(17)「安全管理」		87%	→		92% (5 ポイントアップ)

となっています。

全体的にポイントアップしており、生活指導上の課題が改善傾向にあるといえます。(13)「挨拶」については、昨年度と同様でした。学校としては、日々の指導や6年生と輪番制の学年との挨拶当番によって挨拶への意識を高めています。引き続き、「挨拶」はまず大人から行っていくことを意識して指導を続けていきます。

#### ピックアップ⑩「いじめ等の対応」に関する項目について



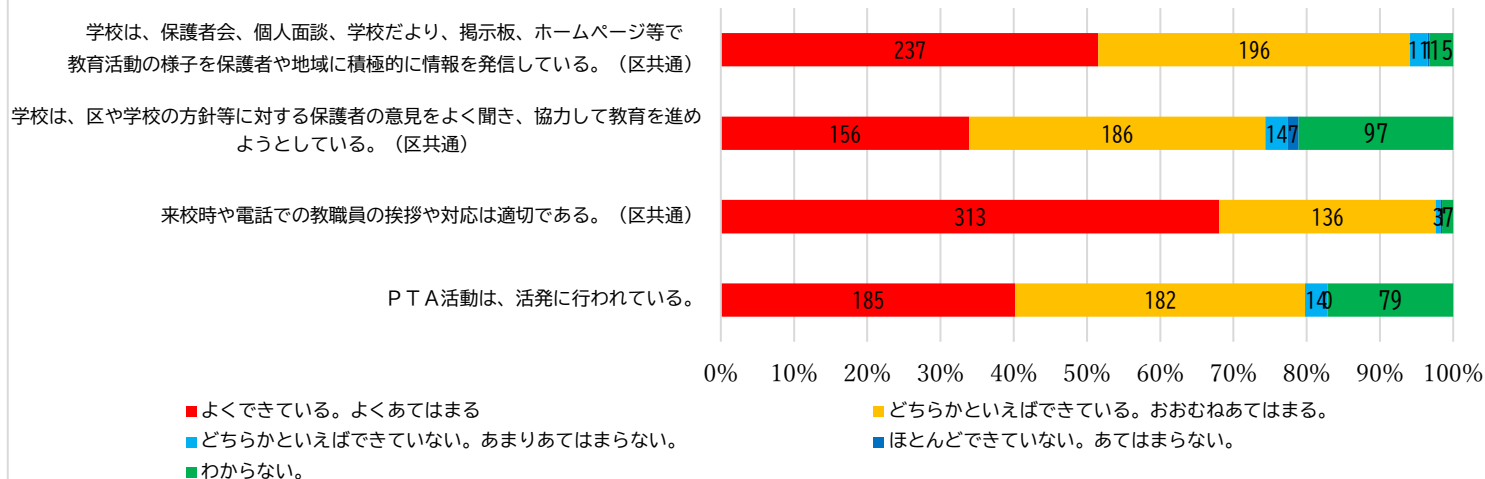
## 分析及び改善・充実案

「いじめ等の対応」の肯定的な回答は、保護者の66%だったのに対して、教職員の回答が、100%でした。今年度も保護者の方と教職員で大きく差が表れる結果となりました。

一方、保護者の方の回答は昨年度よりもポイントアップしました。子どもたちに毎学期実施している「心のアンケート」の内容を改良したことで事態の重要度を把握しやすくなり、初期対応を素早く行い保護者と共有することができたことにより、ポイントアップにつながったのではないかと思います。

保護者の方の「わからない」というご意見は、上記のような共有を要さないご家庭も多くあるため、そのような回答になっている可能性もあります。教職員は、子どもたちの間に起こるトラブルに対し、大きないじめ問題とならないよう迅速に対応し、子どもたちの話をよく聞いて解決を図ろうと努めています。機会を捉え、取組を周知してまいります。これからも、保護者の方の話をよく聞くとともに、学校での子どもたちの様子を適切に伝えるなどして、保護者の皆様と協力していじめ防止に努めてまいります。

### 4 保護者・地域との連携



### 前年度との比較

今年度の「4 保護者・地域との連携」の結果は上のグラフの通りとなりました。

肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

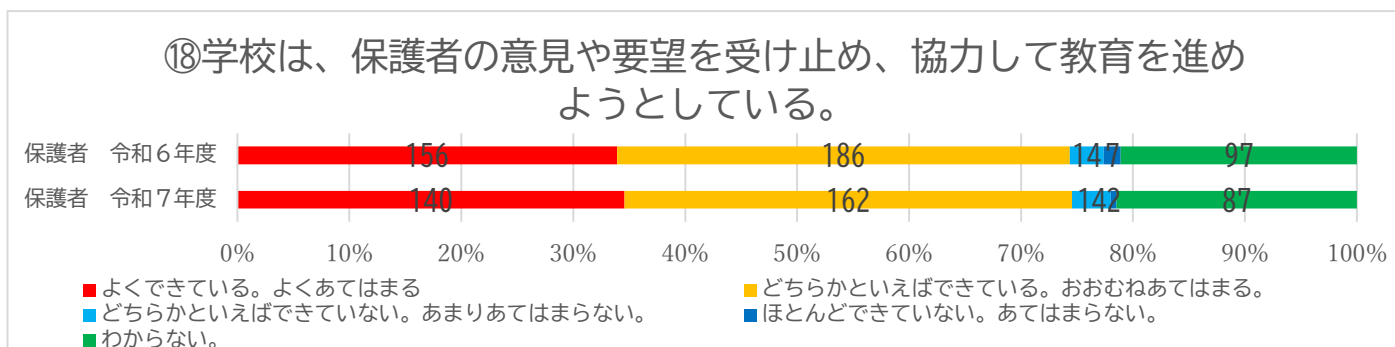
(18)「情報発信」	令和6年度 94%	→	令和7年度 96% (2ポイントアップ)
(19)「要望の受け止め」	74%	→	74% (±0変化なし)
(20)「教職員の対応」	97%	→	97% (±0変化なし)
(21)「P T A活動」	79%	→	80% (1ポイントアップ)

となっています。

(18)「情報発信」の2ポイントアップについては、Home&Schoolに保護者の方々が慣れてきたのではないかと思います。手紙をきちんと持ち帰らない児童の保護者に対しても、オンラインで手紙の内容を確認できるようになったことがよかったのではないかと考えられます。

(21)「P T A活動」の1ポイントアップについては、「朝活！」等の活動が、PTAと学校との距離が近くなる、良い活動だったのではないかと考えられます。

ピックアップ (19) 「要望の受け止め」に関する項目について

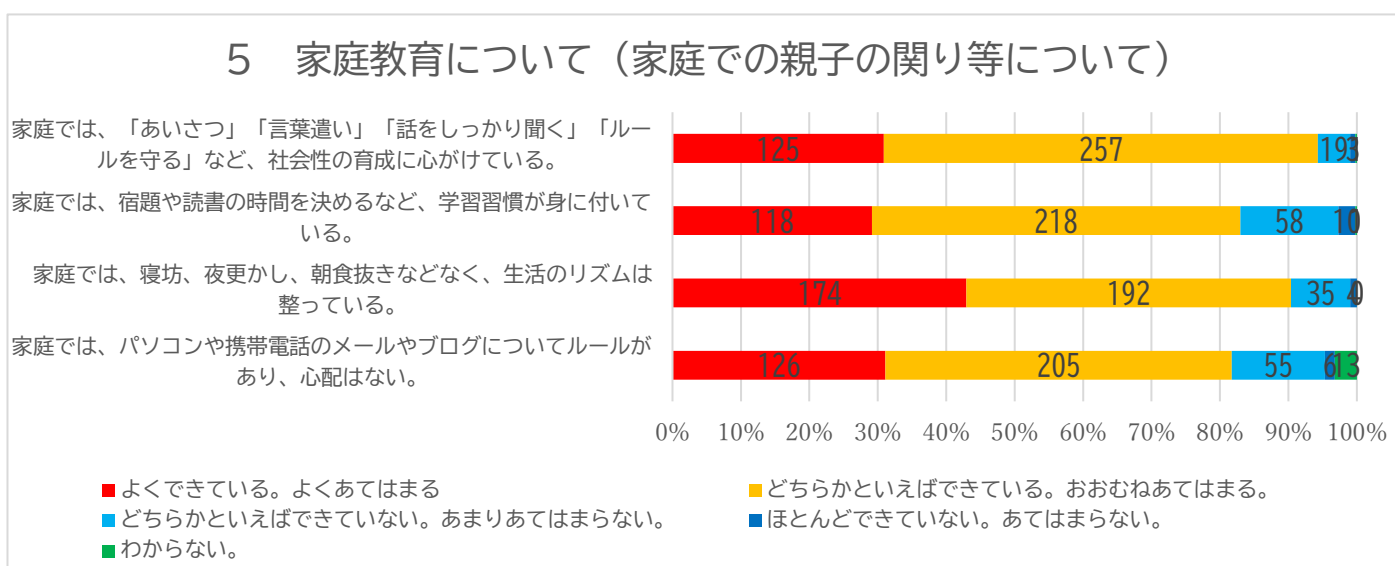


分析及び改善・充実案

「わからない。」という回答が昨年度に引き続き多い点に注目しました。学校に対して意見や要望を出されるということについてご経験のない場合や、ご意見やご要望に対して取り組んだ学校の対応がどれに当たるのか分かりやすく伝わっていない場合が多いこととなります。

学校が新たに取り組んだ事柄が保護者の皆様に適切に伝わるように、ホームページ等を活用して広報していきたいと思えます。

また、保護者会等を通じて、学級運営に対する意識や目標の共有をしていく中で、保護者からの要望も募ることができます。そして、それらを反映させていくことで、「要望を受け止め」の部分も高くなっていくのではないかと考えています。



前年度との比較

今年度の「5 家庭教育について（家庭でも親子の関わり等について）」の結果は上のグラフの通りとなりました。

肯定的なご意見となる赤色・橙色を合わせた割合は、前年度と比較して、

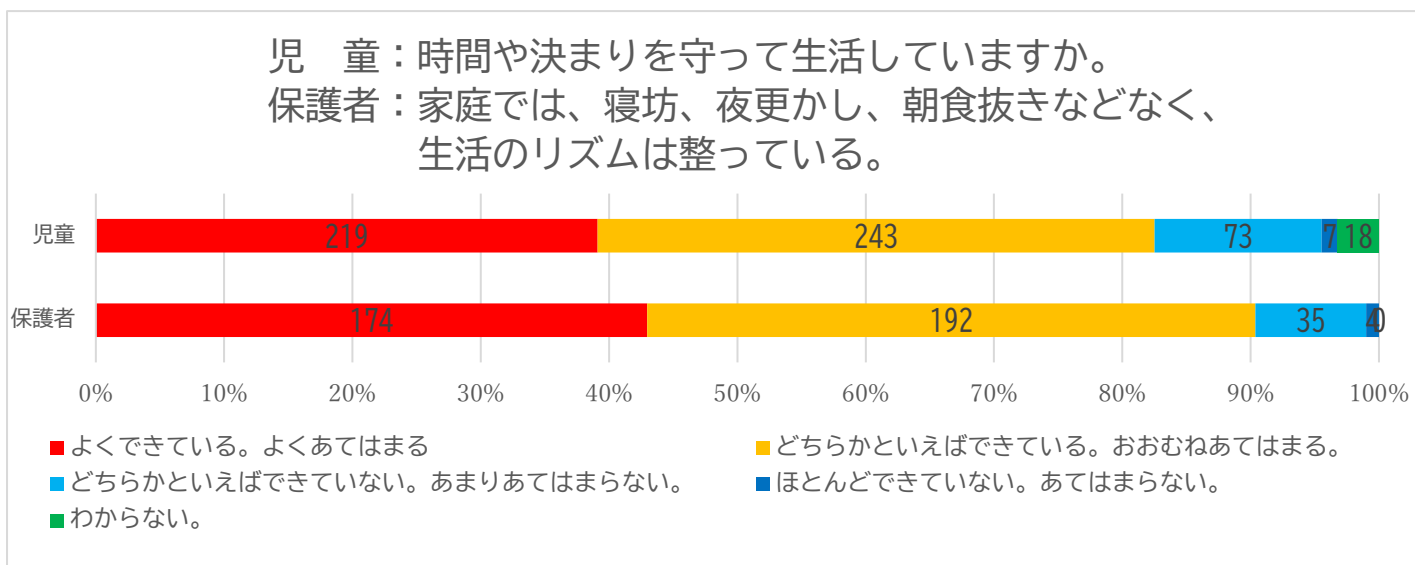
- (21) 「社会性の育成」 令和6年度 94% → 令和7年度 94% (±0変化なし)
- (22) 「学習習慣」 81% → 82% (1ポイントアップ)
- (23) 「生活リズム」 91% → 90% (1ポイントダウン)
- (24) 「携帯電話の使用等」 79% → 80% (1ポイントアップ)

となっています。

家庭教育については、全ての項目で肯定的評価が80%以上の値でした。(22)「学習習慣」については、児童・保護者の肯定的評価が80%を超える結果になりました。より多くの児童が計画的な学習のリズムを身に付けることができるように、保護者の皆様と連携をはかりながら、児童の学習状況を共有してまいります。

(24)携帯電話の使用等については、1ポイントアップしたものの、まだのびしろのある値だと考えます。情報モラルについて日常的な指導を続けたり、道徳の授業でテーマとして扱ったりして、相手が見えないインターネット上のコミュニケーションの難しさについて、考えさせてまいります。

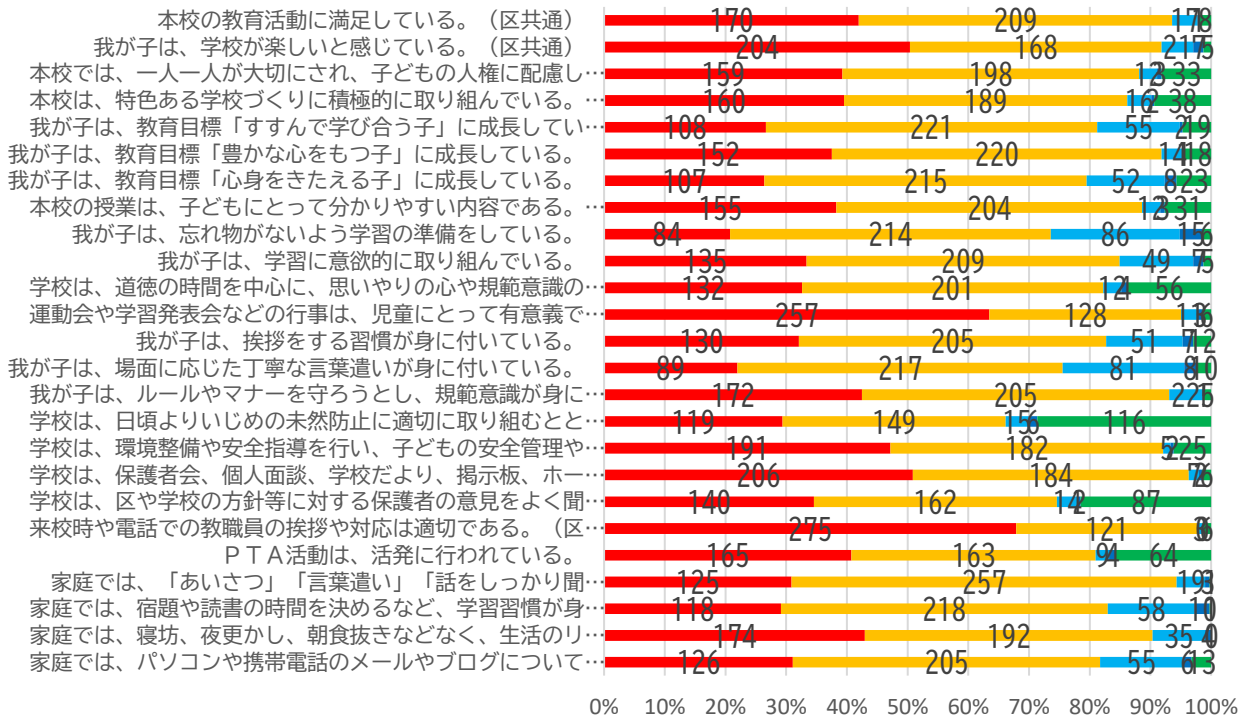
**ピックアップ** (24)「生活リズム」に関する項目について



**分析及び改善・充実案**

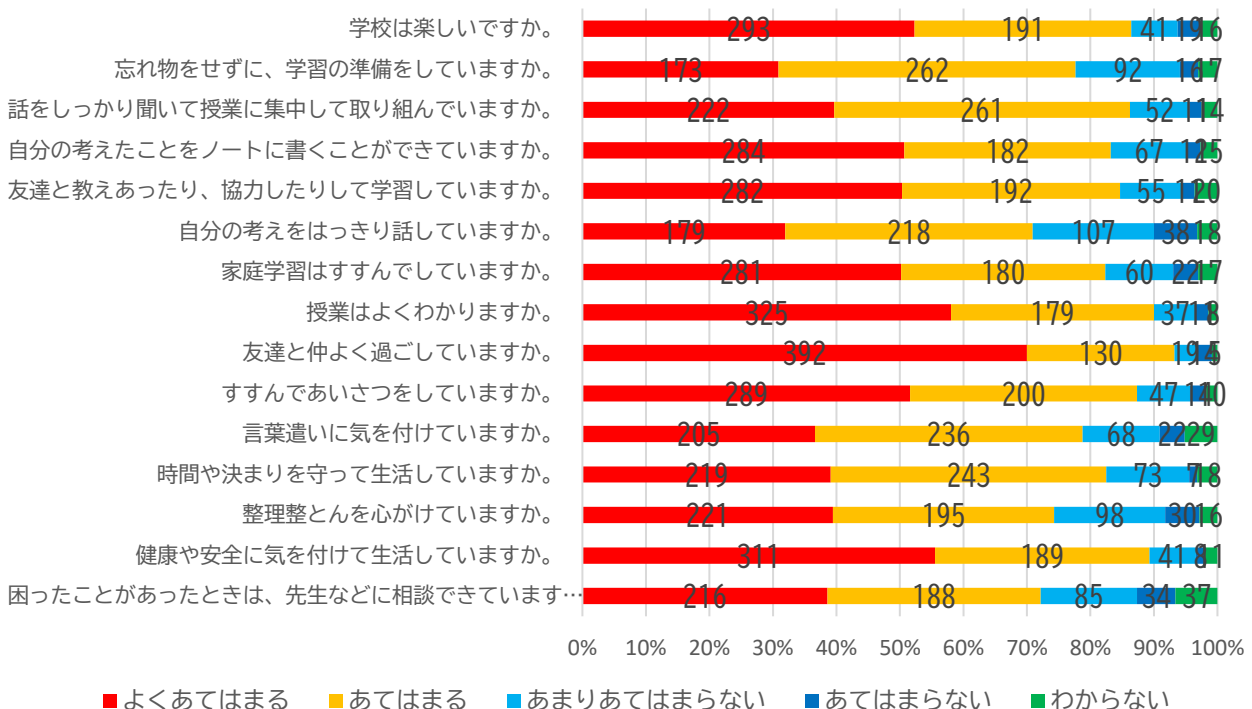
令和5年度から6年度に4ポイントダウン、今年度さらに1ポイントダウンと、徐々に肯定的な回答が減っています。実際、登校時刻に間に合っていなかったり、寝不足の様子が見受けられたり、生活リズムにやや乱れを感じる場合があります。しっかりと睡眠時間を確保し、規則正しい生活を送ることの大切さ伝え、そのリズムが定着するように見守っていきます。ご家庭でもお声掛けいただけますと、幸いです。

## 令和7年度 保護者アンケート

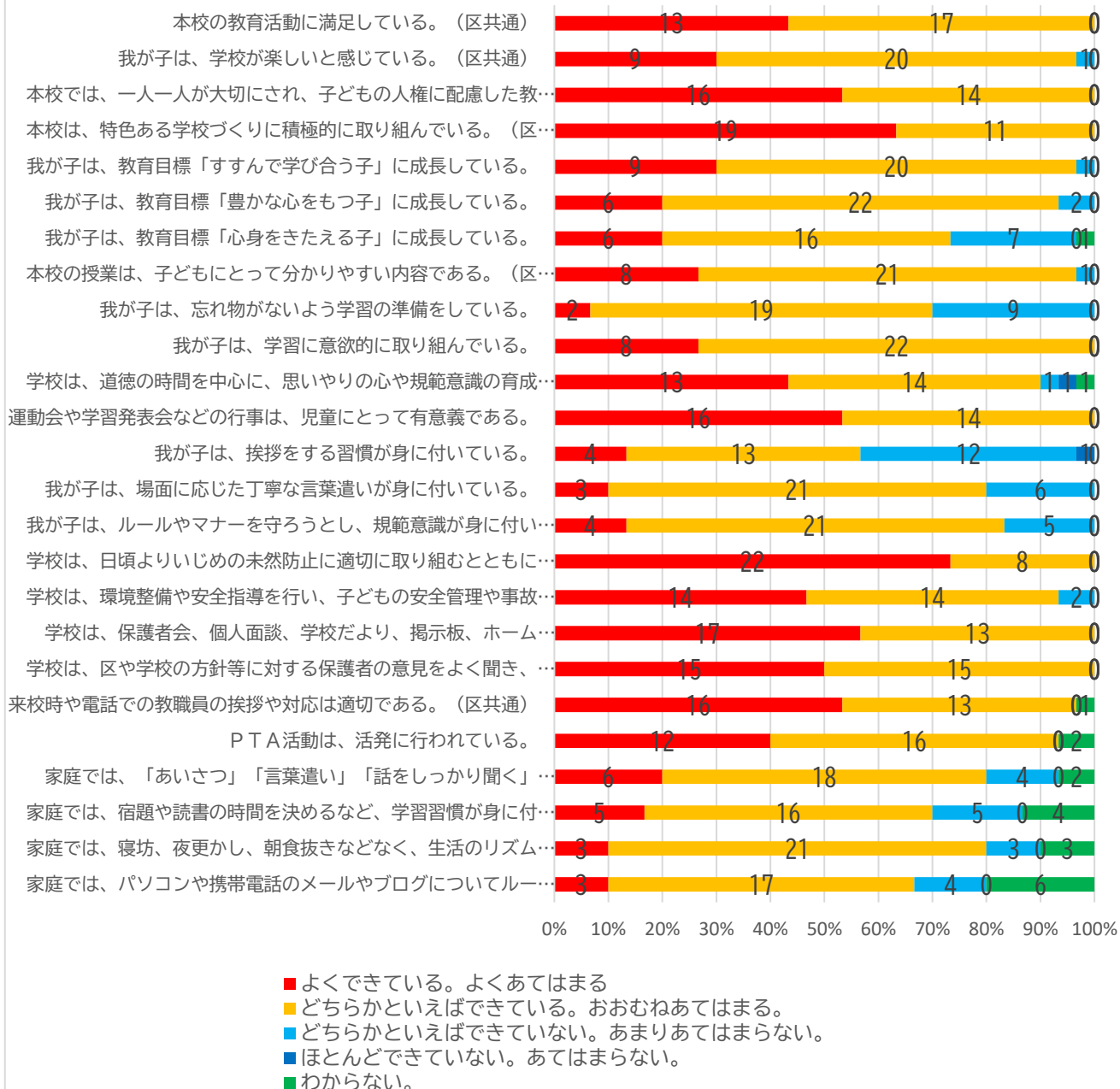


- よくできている。よくあてはまる
- どちらかといえばできている。おおむねあてはまる。
- どちらかといえばできていない。あまりあてはまらない。
- ほとんどできていない。あてはまらない。
- わからない。

## 令和7年度 児童アンケート



## 令和7年度 教職員アンケート

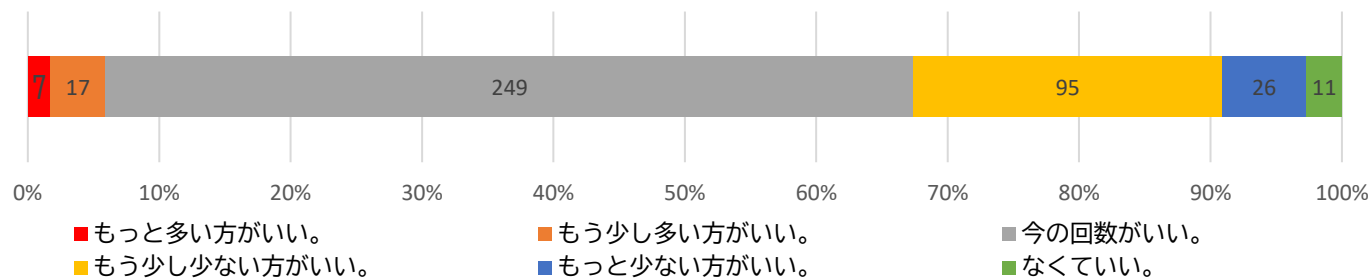


※「教職員アンケート」では、「我が子」を「本校の児童」と置き換えて回答しています。

## 6. 令和7年度より新しく設定した質問について

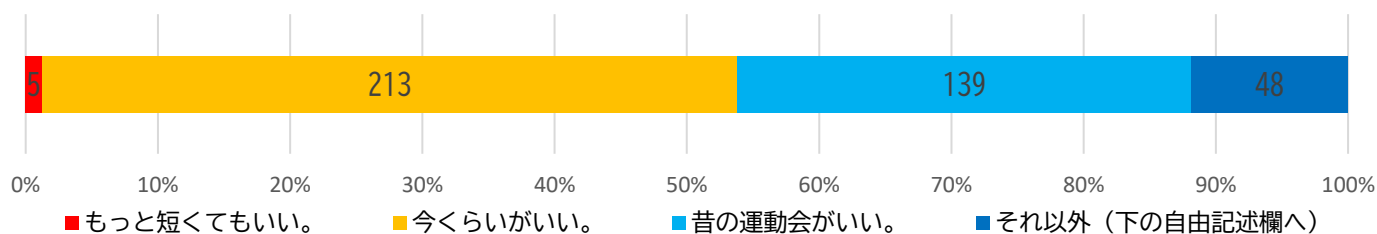
ご回答いただき、ありがとうございました。  
保護者の皆様のご意見を参考に、今後の学校運営の在り方を検討してまいります。

ここからの質問は、今年度からコミュニティ・スクール化したこともあり、より多くの方々と意見を「伝え合う」ことを目指し新たに保護者の皆さんの意向を得るために新規で設定しました。意向聴取の結果、多数派の意見であっても学校経営上その通りにすることができないこともあるとご了承の上、ご回答くださると幸いです。  
現在、土曜学校公開については、区教育委員会の指導のもと、4回と回数を設定して実施しています…



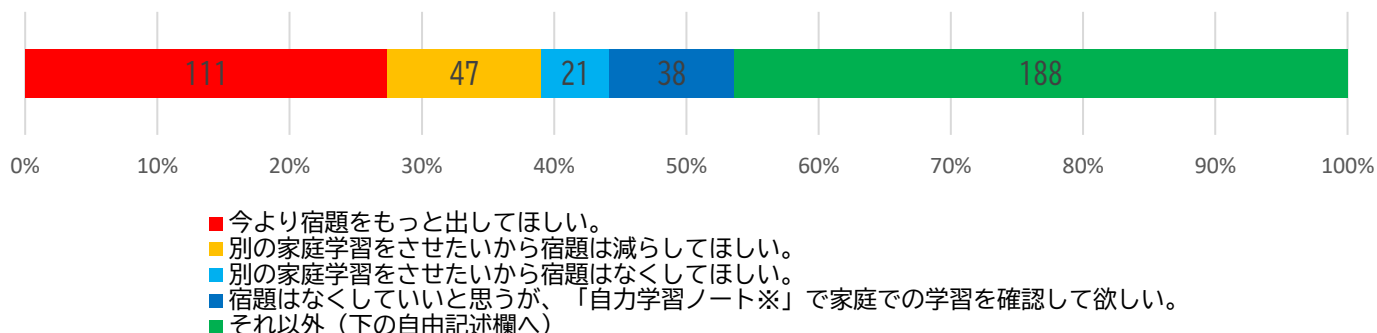
土曜授業公開の回数としては、「今の回数がいい。」という回答が多かったです。「多い方がいい。」という回答よりも「少ない方がいい。」という回答が多かったことから、土曜授業公開のために学校に来ることが増えると、負担になってしまうと考える保護者や、子どもたちの疲労を心配する保護者が多いのではないかと推察しました。土曜授業公開があった次の週にあまり大きな負担がかからないよう考えていきます。

コロナ禍以前に運動会は、午後まで行っていました。子どもたちは、現在取り組んでいる、表現と団体種目だけでなく、徒競走や選抜リレー、応援合戦等、盛りだくさんの内容を行っていました。様々な話し合いをしたうえで、現在の形に落ち着いているのですが、アンケートを取ると、「今くらいがいい。」という内容と「以前の形に戻してほしい。」という内容の相反するご意見を同時にいただきます。多くの調整が必要のため、す…



運動会の内容としては、「今くらいがいい。」という回答が最も多かったです。一方で、「昔の運動会がいい。」という回答も多く、昔の運動会の種目を復活させてほしいという願いをもっているご意見もいただきました。暑い時期に行う運動会ですので、児童の負担をあまり増やさないようにしながら、内容面での充実を図っていきます。

現在、学校から宿題を出しています。クラスによって長期休業中もワークを購入したり、ドリルを使用したりと様態は様々です。宿題の意図は、基礎的な知識・技能の習得と、家庭学習の習慣の定着等があります。家庭教育の主体である家庭にしてみると、「宿題やったの？ やらないと先生に怒られるよ！」ということができる良さがあると考えます。学校としても、授業だけで定着しきらない事項を取り組んでいただくことができる良...



「宿題をもっと出してほしい。」という回答が多いですが、一番多かった「その他」の中では、「今ぐらいの量でちょうどよい。」と書いていた方が大半でした。学校から出される宿題に意義を感じている方が多くいるのだと考えました。ただ、子どもたちが強制的にやらされていると感じると、宿題の効果も薄くなってしまいます。子どもたちにも宿題の意義を伝えるとともに、学習への意欲を高めたり効果を実感できたりするような内容や行い方の工夫をしていきたいと思えます。